

地域ぐるみで取り組みましょう

ジャンボタニシによる被害を防ぐために

- ◆ ジャンボタニシの発生が増加しており、**農作物の食害が危惧**されます。
- ◆ 水田や水路に産卵された**卵塊は、見つけ次第駆除し、貝密度の増加を抑えましょう。**



ふ化直後～成貝

ジャンボタニシ(和名:スクミリンゴガイ)の特徴

- ▶ 南米原産の大型の巻貝（成貝の殻高2～7cm程度）
- ▶ 繁殖力が非常に高い。（濃いピンクの卵塊を年に20～30回、年間3,000個以上産卵）
- ▶ 寒さには弱いですが、暖冬で越冬する個体が増加。
- ▶ 軟らかい植物を好む。
（定植直後の水稻苗やレンコン幼葉の被害が大きい）



成貝



卵塊

※本貝の卵には神経毒が含まれているほか、貝には人体に有害な寄生虫がいる場合があるので、素手では触らないでください！

防除及びまん延防止対策

【卵塊の駆除】

用排水路の壁面などに産卵された卵塊を水中に落とします。

貝密度の増加を抑えるために、地域で協力し、定期的、継続的に駆除を行いましょう。

※ふ化直前の黒～白っぽい卵は除去するか押しつぶして下さい。



卵塊を水中に落とす



市販のトラップを用いた捕獲

【貝の駆除】

トラップなどを用いて貝を捕獲します。

【貝の侵入防止】

水口にネットや網（9mm目合いが適当）を設置し、用水経由での本田侵入を防止します。



水口に設置したネット等



【問い合わせ先】

県南農林事務所

振興・環境室農業振興課

電話(029)822-7086

FAX(029)822-7345

経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

電話(029)822-8517

FAX(029)822-7370

稲敷地域農業改良普及センター

電話(029)892-2934

FAX(029)892-6684

つくば地域農業改良普及センター

電話(029)836-1109

FAX(029)836-1816